

令和4年4月20日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号**「テレワークステーションおぢや」が完成
プレオープンイベント第1弾「起業スクール in OJIYA」を開催**

地域経済の活性化と流入人口の増加を図ることを目的に整備を進めてきた「テレワークステーションおぢや」が完成しました。

供用開始に向けて準備を進めていますが、それに先立ち、プレオープンイベントの第1弾として起業セミナーを開催します。

■ テレワークステーションおぢや 概要

◆所在地

小千谷市本町1丁目11番1号（旧子育て支援センターわんパーク）

◆施設概要及び使用料

	区分	数量	使用料	備考
1	サテライトオフィス	2区画	2,000円/㎡・月～	(株)あわせ入居決定
2	コワーキングスペース	28席	500円/席・日	
3	リモート会議ブース	3室	100円/室・時	2の利用者のみ利用可
4	会議室	1室	500円/室・時	同上・最大4名
5	多目的ルーム	1室	1,000円/室・時	約130㎡

■プレオープンイベント 第1弾「起業スクール in OJIYA」を開催

豊富な実績を持つ講師が、起業に関する基礎知識の習得から事業プランの組立てまでをサポート

◆日程(全4回の出席が卒業要件)

日付:5月19日(木)、26日(木)、6月2日(木)、6月11日(土)

時間:午後6時～8時(6月11日のみ午後1時～5時)

◆講師

(一社)新潟県起業支援センター代表理事/CEO 高橋 秀明 氏

◆その他

全4回すべてを受講して起業する場合、補助金・融資等の優遇措置あり

本件に関するお問い合わせ先/小千谷市商工振興課

担当/(施設の整備に関すること)企業立地係 大矢(尚)・和田

(起業スクールに関すること)地域産業係 岩田・大矢(亜)

TEL:0258-83-3556 FAX:0258-83-2789 E-mail:syoko@city.ojiya.niigata.jp

令和4年4月20日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

ふるさと納税を活用したウクライナ避難者への支援募集を開始

小千谷市は平成4年6月に「非核平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶を願うとともに、市民一人ひとりが平和達成のために努力することを誓いました。今年は宣言から30周年にあたります。

現在、ウクライナでは、戦闘によって民間人を含めた犠牲者が多数出ており、多くの人々が国外への避難を余儀なくされています。

この状況を受け、小千谷市は、本年3月23日にウクライナからの避難者の受け入れを表明しました。今後は、関係機関や団体と連携し、避難者の状況に応じた住居、生活、就労などの支援を行っていく予定です。

この趣旨にご賛同いただける皆様とともに避難者を支援するため、4月19日（火）より、ふるさと納税制度を活用した支援の募集を開始しました。

◆寄附の受付方法

- ・ふるさと納税ポータルサイトを經由した寄附
- ・寄附申込書による寄附

◆寄附を受け付けるポータルサイト

- ・ふるさとチョイス
<https://www.furusato-tax.jp/product/detail/15208/5405515>
- ・楽天ふるさと納税
<https://item.rakuten.co.jp/f152081-ojiya/z9999-01/>
- ・さとふる（準備中）

ふるさとチョイス



楽天



◆寄附の使途

- ・「返礼品なし」による1,000円以上の寄附とし、寄附金額から手数料等を除いた全額を、小千谷市が実施する下記の支援に活用します。

①小千谷市が受け入れたウクライナからの避難者に対する支援
（住居支援、生活支援、就労支援等）

②おぢや避難民支援の会、日本赤十字社等に対する寄附

◆実施期間／令和4年4月19日（火）～5月31日（火）

◆その他／実施期間を延長する場合があります。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市企画政策課企画経営係 担当／増川・佐治

TEL：0258-83-3507 FAX：0258-83-2789 E-mail：plan-kk@city.ojiya.niigata.jp

令和4年4月20日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内2丁目7番5号

4K・VRで小千谷の魅力を発信

新たな誘客プロモーション映像が完成

当市の「特産品、伝統文化・産業、四季景観、食文化」等の地域の魅力を最大限に活用し、地域ブランディングや新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた国内外からの観光をはじめとする多様な誘客につなげるため、高品質な映像表現を用いて情報発信する映像を新たに制作しました。

■映像制作内容

- 高精細（4K）映像 4本（1本あたり3～5分）
- コンテンツ 「特産品（日本酒）」、「景観（山本山高原ほか）」
「伝統文化・産業（牛の角突き、小千谷産花火）」
- コンセプト 「そこに暮らす人々の何気ない日常風景にスポットを当てた人の魅力を伝える」
- 言語対応（字幕） 日本語、英語、中国語（簡体語・繁体語）
- ダイジェスト動画 魅力あるシーンを集めたダイジェスト動画（15秒版、1分版、VR版）

■VR動画制作内容

- 高精細（5K360°）VR動画 3本（1本あたり3～5分）
- コンテンツ 「牛の角突き」、「景観（山本山高原ほか）」、「小千谷産花火」

■映像活用

- 「東京駅前常盤橋プロジェクト」関連事業や各種イベント会場での、デジタルサイネージやVRゴーグル、プロジェクター等を利用した上映
- 市ホームページ、市公式SNS、Web広告によるインターネット配信
- 積極的に小千谷市をPRしていただける方や市内外の事業者、企業等への映像提供

※小千谷市は、令和2年度から令和4年度までの3年間で事業期間とし、豊かな魅力を伝える高精細な映像やVR動画を制作しています。



本件に関するお問い合わせ先／小千谷市観光交流課 担当／荻野・山崎
TEL : 0258-83-3512 FAX : 0258-83-0871 E-mail : kanko@city.ojiya.niigata.jp

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

「映画「峠」最後のサムライ ロケ地マップ」を作成

6月17日公開予定の映画『「峠」最後のサムライ』の撮影が行われた市内のロケ地や戊辰戦争に関連する史跡等をまとめた「小千谷市歴史・ロケ地マップ」を作成しました。

公開を控え、撮影場所の雰囲気や当時の様子を思いながら市内を巡り歴史を感じてください。

◆マップ掲載箇所

【ロケ地】

- ・西脇邸
- ・朝日山古戦場
- ・オオクラ見晴台

【史跡・ゆかりの地】

- ・司馬遼太郎「峠」の碑
- ・雪峠「激戦の地記念碑」
- ・小千谷陣屋跡石碑
- ・小千谷港跡記念碑
- ・慈眼寺
- ・居食亭「東忠」
- ・浦柄神社墓碑
- ・船岡山西軍墓地
- ・五智院

◆配布場所

- ・観光交流課（分庁舎）
- ・小千谷駅待合室
- ・市民会館
- ・サンプルザ ほか

◆制作部数 5,000枚



本件に関するお問い合わせ先／小千谷市観光交流課 担当／荻野・山崎、小千谷観光協会 担当／阿部
TEL：0258-83-3512 FAX：0258-83-0871 E-mail：kanko@city.ojiya.niigata.jp

令和4年4月20日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

「牛の角突き」初場所を開催

国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統習俗「牛の角突き」初場所が小千谷闘牛場で開催されます。

体重1トンを越える牛が熱戦を繰り広げる迫力満点の「牛の角突き」をご覧ください。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記の対応にご協力ください】

- ・混雑状況により、入場制限をさせていただきます。
- ・マスク着用、手指消毒、氏名等の記載をお願いします。
- ・入場時検温で37.5度以上の方は入場できません。



■主催

小千谷闘牛振興協議会

■開催日

5月3日（火・祝）

■開催時間

正午～（雨天決行）

■会場

小千谷闘牛場（小栗山：東山小学校近く）※無料駐車場有り

■入場料（※中学生以下は無料）

- ・一般席（屋根なし）1,000円
- ・特別席（屋根あり）2,000円

※入場券は当日販売のみとなります。

■シャトルバス（片道500円）

11:20 イオン発～11:30 サンプラザ～11:35 小千谷駅～11:55 小千谷闘牛場

※取組終了後、逆ルートで走行

■今後の開催予定日

6月5日（日）、7月3日（日）、8月14日（日）、9月4日（日）、10月2日（日）、
11月6日（日）

■その他

- ・大型バス等にて団体でご来場される場合は、事前申込みが必要です。
- ・開催日には、県指定文化財「木喰観音」を拝観できます。
- ・今後の状況により、開催内容に変更が生じる場合があります。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市観光交流課 担当／小林・荻野

TEL：0258-83-3512 FAX：0258-83-0871 E-mail：kanko@city.ojiya.niigata.jp

令和4年4月20日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

「錦鯉の里」の鯉を庭園の池に放流

錦鯉の里では、雪解けと同時に庭園と池の清掃を行い、春の準備を進めており、下記の予定でオーナー鯉を屋内の観賞池から庭園の池に移動します。この様子は、春の小千谷市ならではの光景です。

■ 期日

4月27日（水）

■ 時間

午前8時30分～ 作業開始

午前9時30分ころ～ 選別放流（午前11時ころ終了予定）

■ 会場

錦鯉の里（城内1-8-22）

■ 内容

昨年秋より、屋内の観賞池で越冬していたオーナー鯉約230尾を、写真と照合しながら選別し、庭園の池へ放流します。

■ 作業者

小千谷市錦鯉漁業協同組合の役員、錦鯉の里職員



△過去の作業の様子

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市観光交流課 担当／小林・荻野
TEL：0258-83-3512 FAX：0258-83-0871 E-mail：kanko@city.ojiya.niigata.jp

令和4年4月20日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号**令和4年度中越大震災ネットワークおぢや主催
「住家の被害認定調査実地研修会」を開催**

当協議会では、平成20年度から自治体職員を主な対象として、災害時の「り災証明書」の発行に必要な住家の被害認定調査の研修会を行っています。

この研修は、中越大震災により被災した建物を利用し、参加者が被害認定調査を実際に行い、調査方法を習得することにより、それぞれの自治体や被災地への支援活動に備えるものです。

■研修会の概要

- ◆日時 (1) 5月30日(月) 午後1時30分～4時50分
座学①：オンライン研修 (Zoomによる配信)
- (2) 5月31日(火) 午前9時30分～午後4時20分
実習：荷頃地内(南荷頃314)
座学②：小千谷市民学習センター「楽集館」(上ノ山4-4-2)
- ※ (1) と (2) の2日間受講
- ◆内容 災害時の「り災証明」に関わる住家の被害認定調査の研修会
- ◆講師 常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡 氏
- ◆定員 (1) なし / (2) 32名
- ◆主催 中越大震災ネットワークおぢや(事務局：小千谷市)
- ◆その他
 - ・荒天の場合、実地研修の内容を変更することがあります。
 - ・新型コロナウイルス感染防止対策を行い、研修会を開催します。
 - ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により30日のオンライン研修のみの開催とする場合があります。

■「中越大震災ネットワークおぢや」とは

中越大震災の災害対応現場で得た知恵や教訓を収集・記録、共有して、災害発生時における被災自治体の災害対応業務支援のための情報提供と経験職員等派遣の調整を行うことを目的として、平成17年に設立されたネットワーク組織です。

現在、新潟県内の12市町をはじめ、県外では杉並区や浦安市、東日本大震災で被災した南相馬市など、当市を含む90の行政組織が参加し、事務局を小千谷市危機管理課と静岡県常葉大学に置いています。